

No. 1636

# 天皇陛下「即位の礼」

## —— 皇居 ——

平成2年11月12日、天皇陛下の即位の礼の中心儀式「即位礼正殿の儀」が皇居・宮殿の松の間で行われました。天皇陛下が即位を国の内外に宣言される国の儀式で元首70人を含む158ヶ国と2国際機関の祝賀使節や国民の代表2,223人が参列しました。

松の間に並ぶ皇族方の前を天皇陛下が中央に置かれた高御座（たかみくら）のなかへ、続いて十二単（じふにたもと）の皇后陛下が隣の御張台（みちょうだい）に向かいます。

鉦（かね）の音を合図に張（とばり）が侍従によって開けられて高御座と御張台に両陛下が立たれました。

天皇陛下はおことばの中で「日本国憲法を遵守し、日本国及び日本国民統合の象徴としてのつとめを果たすことを誓う」とのべられました。

海部首相の発声で万歳を三唱し象徴天皇制を定めた憲法下で初めての即位の礼の儀式が終わりました。

午後3時すぎ、両陛下は皇居から赤坂御所まで昭和34年の御結婚以来のパレード。オープンカーの両陛下を約11万人の国民が沿道から祝福しました。

夜、宮殿「豊明殿」で「饗宴の儀」が催され、正殿の儀に参加した海外代表を中心に約350人が招待され晩餐会では異例の和食の宴がくりひろげられました。

食後、参列者は松の間に置かれた高御座と御張台を見学。両陛下を始め、皇族方が各国からの賓客の接待をつとめ皇族外交を展開、夜遅くまで談笑がつづきました。

即位の礼を通して日本文化の伝統と平和の願いを世界にアピールしたいものです。